

平成 27 年 11 月 24 日  
総合政策局海洋政策課

## 第 5 回 PEMSEA 東アジア海洋会議の開催概要について

東アジア海域における環境管理と持続可能な開発を促進するため、日本・中国・韓国を含む各国政府、国際機関、NGO、研究者等の幅広い関係者間の連携・協力により、同地域での沿岸域総合管理(ICM: Integrated Coastal Management)を推進することを目的に開催された「第 5 回 PEMSEA(東アジア海域環境管理パートナーシップ)東アジア海洋会議」の概要をお知らせします。

### 記

■日程 11 月 16 日(月)～21 日(土)

■場所 ベトナム、ダナン市

■参加国 カンボジア、中国、北朝鮮、インドネシア、日本、ラオス、フィリピン、韓国、シンガポール、東ティモール、ベトナム

■我が国出席者 大脇技術総括審議官ほか

### ■結果

(1) 「東アジア海域における沿岸及び海洋のガバナンス」、「沿岸域総合管理の拡大」、「東アジア海域における気候変動及び災害のリスク管理」等の 9 つのテーマに関するワークショップ等が開催され、我が国の海洋政策の実施体制及び港湾における東日本大震災からの復興状況について紹介しました。

(2) 各国代表が意見交換を行う中、大脇技術総括審議官より、「東京湾再生プロジェクト(※)」や、地方創生に繋がる各地の沿岸域の管理に関する施策等について紹介するとともに、我が国で先進的な取組みを進めている志摩市において来年サミットが開かれることを契機に、我が国においても更に取組みを進めていく旨プレゼンテーションを行ったところ、各国参加者から高い関心が示されるとともに、地元のメディアにも大きく取り上げられ、好評を博しました。

(※) 国、地方自治体及び民間団体等の関係者が連携して閉鎖性海域の環境改善を推進する「全国海の再生プロジェクト」の一つで、水質改善に向けた取組みを継続した結果、半世紀ぶりにお台場等一部の海浜公園で海水浴場として試験的に解放できるようになりました。

(3) 東アジア海域での持続可能な開発の促進を提唱する「ダナン協定」を採択しました。

以上

連絡先：国土交通省総合政策局海洋政策課	海洋政策渉外官 上田 (内線 2 4 3 6 2)
	海洋渉外調査官 三浦 (内線 2 4 3 7 6)
	代表 0 3 - 5 2 5 3 - 8 1 1 1
直通 0 3 - 5 2 5 3 - 8 2 6 6	F A X 0 3 - 5 2 5 3 - 1 5 4 9